

【コラム】

最近のニュースから



早めのSOSを

中 学生が同級生を刃物で殺害するという痛ましい事件が愛知県で発生し、大きく報道されました。新型コロナの影響により社会生活が制限される中で、学校や友人関係に大きなストレスを感じている子どもたちもいます。少しでも異変を感じたら、下記窓口に気軽に相談してください。

命を脅かす「自転車事故」

イ ヤホンをつけて無灯火の自転車に乗っていた高校生が歩行者と接触し、歩行者が車道に転倒。トラックにはねられる死亡事故が東京都で発生しました。市内でも、中高生の自転車事故は全体の半数近くを占めます。自転車でも事故を起こせば、加害責任を逃れることはできません。下記「5則」を確認し、安全運転をお願いします。



自転車交通安全5則

- ① 自転車は車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側を通行
- ③ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ④ 安全ルールを守る (2人乗り・並進の禁止、夜間はライト点灯、交差点での信号遵守と一時停止・安全確認)
- ⑤ 子どもはヘルメットを着用

少年の主張長野県大会

松本奈穂さん(三郷中1年) 知事賞受賞

令 和3年度少年の主張長野県大会で、994作品の中から松本奈穂さんの作品「認め『愛』の社会を」が最高賞である知事賞を受賞。12月18日に松本市で開かれた「県青少年育成県民運動50周年記念大会」での発表の一部を紹介します。

皆さんには、好きなことがありますか。私は絵を書くことが好きです。そのため、中学校では美術部に入っています。しかし周りからのある言葉に疑問を感じていました。(中略) 多くの人が運動部に入るとえらい、すごい、文化部は楽をしている、運動ができない人が入るというイメージがあるのです。(中略)

やりたいことは上手、下手に関係なく、その人の選んだことなのでそれを尊重し理解してほしいと思います。勝手な思い込みをして、それを言ったりするのはよくありません。こんな風に考えるようになってから私は、美術部として自分の部活にも自信が持てるようになりました。もっと努力して技術を学び、みんなに認められるようになりたいです。社会全体が大人も子供も互いを認め合い、皆一人一人が胸を張って輝ける、そんな過ごしやすい未来になりますように。



一人で悩まずご相談ください

誰にも相談できず一人で悩んでいる児童・生徒の皆さん、子どものことで悩んでいる保護者の皆さんなど、秘密は厳守しますので、気軽にご相談ください。いずれの窓口も経験豊富な専門家が相談に応じます。

- 安曇野市青少年センター 市役所3階生涯学習課内(☎71・2466 ☎71・2338 ✉seishonen@city.azumino.nagano.jp)
- 子どもと親の相談電話 豊科公民館内(22ページ参照)